

事業所名 放課後等デイサービス 杉島組曲 (放課後デイ)

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

14 日

法人 (事業所) 理念		地域福祉の推進者になる・困りごとに手を差し伸べよう			
支援方針		<p>①得意なこと本人の強みを活かした遊びや活動の場を提供し、得意なことから活動の内容や場所が広がったり楽しめやすくなるよう支援します。</p> <p>②お手伝い活動やお仕事活動 (廃品回収・分別) を通じて将来に対して期待が持てたり、今後の役割づくりに働きかけます。</p> <p>③長期休暇や学校休校日を利用し、一対一での外出の機会・小集団・大集団での外出の機会を設け、社会資源を活用しその場で得られる経験や発見を得られる機会を作ります。</p> <p>④ご家庭や学校・併用事業所での様子や本人の体調や状況を踏まえ、ご本人やご家族が安心して通えるよう励まし寄り添った支援を行います。</p> <p>⑤茶話会を開催し気軽に保護者様が集い、情報交換したり気持ちや発覚できる場所となるよう努めます。</p> <p>⑥不登校児童の支援を行います (保護者様からの相談・学校との連携等)。ご本人や保護者様の悩みや困りに寄り添い安心して過ごすご本人の居場所となるよう努めます。</p>			
営業時間		(平日) 9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		(祝・長期休暇) 8 時 30 分から 17 時 30 分まで			
支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康状態 (睡眠時間・検温・咳や鼻水などの身体症状・排便状況に確認・服薬状況など) の把握。連絡ノートや健康チェックシートの記入をご家族に依頼し、把握に努めます。また、事業所での健康状態の変化や気づきの共有を行います。・事業所、家庭、園その他の過ごしの場での状況に応じた本人の心身の状況の把握に努めます。 ・生活習慣や生活リズムの形成・基本的な生活スキルの獲得 (食事・排泄・衣類の着脱等) に向けた取り組みとして、それぞれの場面での練習のほか、動作や操作に繋がる遊びや机上課題の提供を行います。 ・医療的ケアが必要な子どもさんへは、看護師にて健康チェックを行い健康の維持に努めます。 ※てんかんをお持ちのお子様へは個々にマニュアルを作成し安全にお預かり出来るよう支援を行っております。また、医療的ケアが必要なお客様も看護師の元、安心して活動できるよう支援を行っております。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と運動・動作の向上に向けてサーキット・トランポリン・バランスボール・散歩・プール等活動の提案と提供を行います。 ・姿勢と運動・動作の補助的手段の活用として、音楽に合わせて身体を動かす運動・片足バランスや両足ジャンプや本人に合う椅子やテーブルの使用等提案し、観察を行いご家族や関係機関と情報を共有します。 ・身体の移動能力の向上に向けて段差の昇降・バイクマシン・短距離からの歩行移動等繰り返し練習する場を設定します。 ・病院 (リハビリ) へ同行し見学と専門職の方からのアドバイスをうけ、療育の中にとりいれます。 ・保有する感覚の総合的な活用・感覚の特性への対応として感覚の過敏及び鈍麻への対応。感覚への理解と環境整備 (パーテーションやイヤーマフ) を行います。また、感覚発達のための遊びの提案を行います。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査や事業所での様子、ご家庭・園でのご様子を面談にて情報を収集し、得られた情報から認知の特性の把握します。 ・スケジュールを用いて先の見通しを立てたり、写真やイラストカードを用いて視覚的に分かりやすい提示を行い行動を促します。 ・朝の会で、曜日や時間、いろ、天気の違いを促し、個別活動の机上の課題や遊びなどの集団活動を通して概念理解を促します。(左右・上下・大小・色等) ・食事へのこだわりの対応としてクッキングやご家庭・学校の状況を把握し本人の負担にならないよう配慮し楽しい食事場面を提供するよう努めます。必要に応じて保存出来る好きなもの (ふりかけ、カップ麺等) お預かりし、必要に応じて提供いたします。 ・行動障害の予防への対応として視覚的な分かりやすい提示と、環境づくりを行います (プレイルームとクールダウンの場所を設定する等)。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に合った挨拶の習得をはじめとして、言葉の習得に向けた関わりや声掛けを行います。また、スタッフの介入を入口に児同士がやり取りを楽しんだり場面に合った言葉 (ふわふわ言葉・チクチク言葉や要求の伝え方等) に気づきを促す声掛けを行いコミュニケーションの基礎的能力の向上を促します。 ・集団活動等他者とのやり取りを通して自発的な発語を促し、表出された言葉を受容し安心して自分を表現できる場を提供できるよう努めます。 ・児から表出される指さしや身振り、ジェスチャーや絵カードに合った働きかけや自由遊びの提案を行います。 ・ホワイトボードや50音表を用いて読み書きの能力の向上を促します。 ・読み聞かせをスタッフがしたり、担当制で児童が行うことで聞く、読む、伝える力を促します。 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の担当スタッフとの関係づくりから児同士の関係作りへと広がるよう介入し (アタッチメントの形成と安定)、安心して自分を表現できる場を提供します。 ・模倣行動、感覚・運動遊びから抽象遊び、一人遊びから共同遊び等遊びを通して社会性の促進を促し、仲間づくりと集団活動への参加を促します。 ・個別の活動や小集団・異年齢との大集団での活動の場 (勝敗のあるゲーム・役割のある遊び等) でのやり取りや、その振り返りを通して自己理解とコントロールの支援を行います。 ・お手伝い活動や共同制作・クッキング・SDG2 (廃品回収や分別作業) 等を通して仲間づくりと集団活動への参加を促します。 ・発達年齢に合わせたルールのある遊びの中から勝敗や結果に対する態度や考えの提案を行いません。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや健康管理チェック表を用いた情報共有 ・保護者の子育てに関する困りごとや子どもの発達状況や特性理解に向けた相談援助や支援方針の共有 ・保護者同士の交流の機会の提供 (茶話会) ・きょうだいに関する相談援助やきょうだい児で参加できるイベントの実施 ・家族のレスパイトの時間の確保 ・広報誌、BAND (SNS) を活用した情報共有 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの切り替えを見据え、将来的な移行に向けた準備や移行会議への参加 ・移行先への見学同行 ・移行先への見学・情報提供 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・併用事業所や医療など関係機関との連携を図る。 ・日々の送迎時、学校からの共有事項・事業所での気づきの共有を図る。 ・個別支援計画の作成に係る会議の開催や相談支援専門員の開催する会議への参加 ・ケース検討のための会議の開催 ・防災を含む関係機関との連携のため近隣小学校への福祉体験授業への参加。 ・SDG2取り組み活動を通して近隣住民との交流 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・リーオンミーの運営する研修の受講。 ・南区機能強化事業の研修参加。・南区管内子育て支援ネットワーク会 研修の参加 ・個人のレベルアップに必要な研修の受講 (自主的参加も含む) ・勉強会の実施 (月1回) ・外部講師によるスーパーバイズ 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など季節に合わせた月行事の実施。 ・外出活動・買い物支援等社会資源を活用し、社会体験や経験の中から学ぶ機会を提供する。 ・他事業所との交流の場を提供する。 				